

平成29年度
「オール滋賀DEインターンシップ」
実施計画案

平成29年 5月31日
滋賀インターンシップ推進協議会 総会

<AGENDA>

1. 「オール滋賀DEインターンシップ」の基本方針と全体の流れ
2. 平成29年度「オール滋賀DEインターンシップ」年間スケジュール
3. インターンシップ実施時期・期間、申込方法
4. マッチング方法
5. インターンシップ事前・事後研修、成果報告会
6. その他

1. 「オール滋賀DEインターンシップ」の基本方針と全体の流れ

<基本方針>

- ①県内外の学生に多くの滋賀県の企業を知ってもらい、若年層の定着および企業の人材確保に繋げる。
- ②「滋賀県内ではたらく」ことを通じ、学生の学習意欲を向上し、職業観を醸成する。

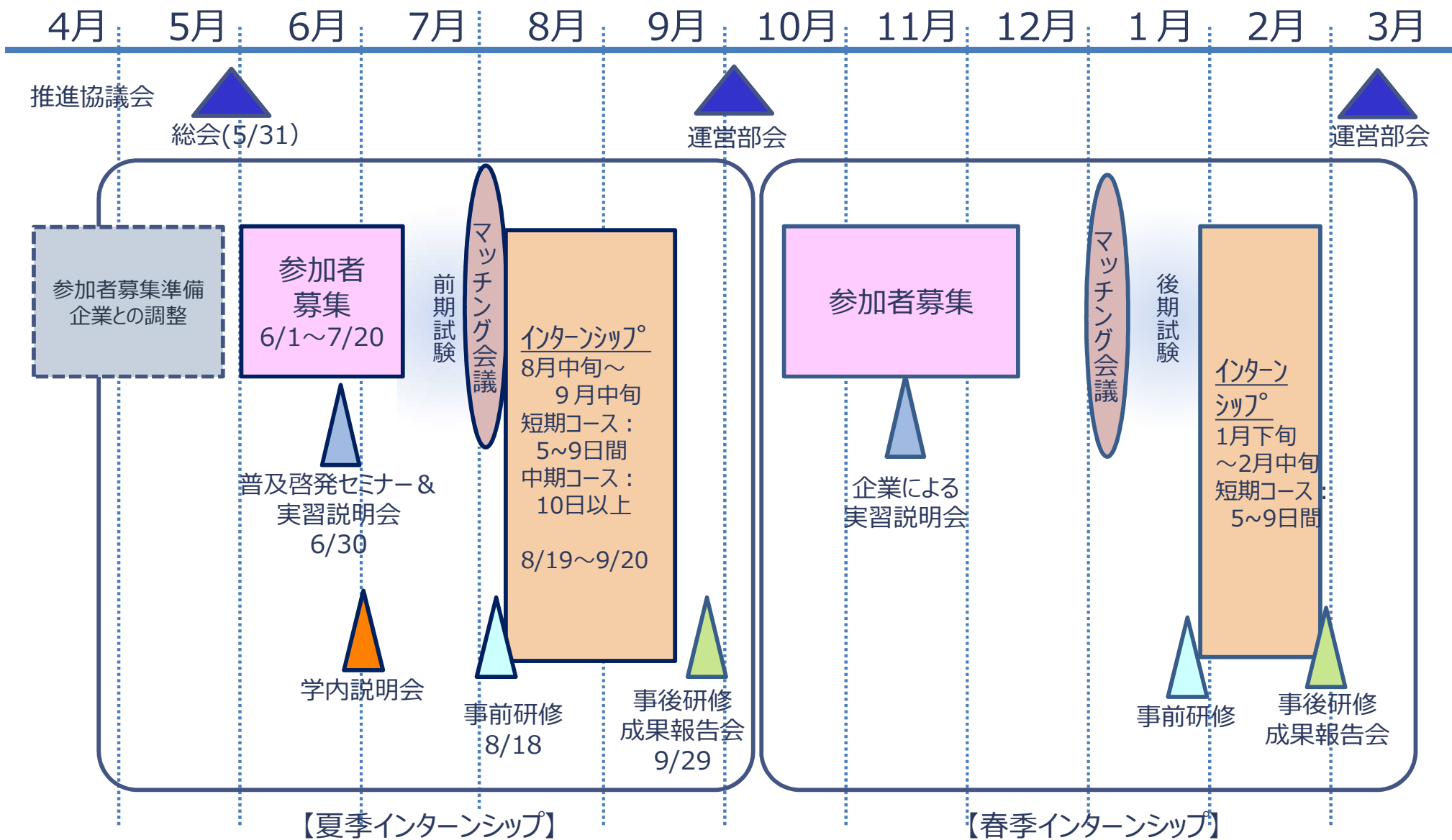
夏季・春季インターンシップを実施
インターンシップ参加学生：50名
 ～学生と企業の参加の仕組みづくり～

学生募集対象は首都圏を含む全国の大学生とする。
 (メインターゲットは協議会参加大学の在学学生とする)

<春季・夏季インターンシップの基本的な流れ>



2. 平成29年度「オール滋賀DEインターンシップ」年間スケジュール



3. インターンシップ実施時期・期間、申込方法

■ インターンシップ実施時期

・夏季、春季の年間2回を予定 (全学年対象)

⇒夏季インターンシップ：8月19日(日)～9月20日(水) 短期・中期コース

⇒春季インターンシップ：1月下旬～2月中旬 短期コース

■ インターンシップ実習期間

・短期コース・・・5～9日間

※パッケージ型 (例:A社2日+B社3日) インターンシップの試行実施

異なる業界の企業を組み合わせることで、学生が業界研究しやすい環境を整備するとともに、インターンシップを初めて実施する企業に対応する。

・中期コース・・・10日以上

■ 申込方法

学生本人からWebエントリー後、各大学キャリアセンターを通じて「志望理由書」をFAXもしくは郵便にて事務局へ送付する。

4. マッチング方法

<書類選考によるマッチングを基本とする>

- ・応募時に志望理由書を提出（第5希望までの実習先を記載）



- ・志望理由書をマッチング会議で採点し、上位者から希望に沿った実習先を決定

■ 採点方法

協議会参加大学の中から3大学程度の担当者が「マッチング会議」を実施。採点項目を予め設定しておき、各項目5点満点の総計で判断する。選考漏れの学生に対しては、再マッチングの案内を行うが、それでも決定しない場合は、志望理由書にコメントを記載し、各大学キャリアセンターから学生本人へフィードバックする。

5. インターンシップ事前・事後研修、成果報告会

■ 事前・事後研修

⇒事前研修：ビジネスマナー基礎（1時間）

目標設定研修（2時間）

グループによる共有（1時間）

⇒事後研修：事前研修時に設定した目標に対して、どのような成果を得られたのか振り返り、グループ毎に学びをまとめる。（3時間）

※単位化に対してコマ数が不足している場合は、各大学にて対応

■ 成果報告会

成果報告会は事後研修と同日に実施し、グループによる活動報告発表と他学生の成果を共有するとともに、企業との交流会（意見交換）を実施し、企業と学生との接点を作り、双方の理解を図る。

※研修や成果報告会を通じて、他学生との接点を持つことで社会人基礎力の向上に繋げる。

6. その他

■ インターンシップ普及啓発セミナー & 実習説明会の開催

- ⇒普及啓発セミナー（企業向け）：効果的なプログラム作成方法や事例報告
- ⇒実習説明会：実習先企業が、学生に対し、企業PRおよび実習内容の説明を行い、学生の応募者拡大に繋げる。なお、既に応募済みの学生に関しては、企業説明会参加者に限り、その場で実習先希望の変更を認めることとする。

■ 学内説明会の実施

- ・協議会参加大学で、インターンシップに関するガイダンス説明会を実施

■ インターンシップ保険

- ・事務局にて、学研災・学研賠同等のインターンシップ保険へ加入する。

■ 緊急連絡網の整備

- ・気象情報発令時の対応⇒各大学の規定に沿って運用
- ・実習中の事故等に対して、企業＝事務局＝大学間での連絡網を整備（大学、事務局の休業日における事故時対応方法を検討）